

**御坊東ロータリークラブ**  
since 1996.2.14

**Club Weekly Britain**

例会 水曜日18時30分 御坊御坊商工会館3F  
事務局 〒644-0002 和歌山県御坊市齒350-28(御坊商工会館3F)  
連絡先 TEL 0738-23-2334 FAX 0738-22-1234  
E-Mail gobocast-rc@naxnet.or.jp

四つのテスト(Four way Test)  
(1)真実かどうか (2)みんなに公平か  
(3)好意と友情を深めるか (4)みんなのためになるかどうか

会長 龍田安廣 廣 弘 史  
副会長 龍小池 佳 史  
幹事 龍小池 佳 史

### 有田2000RC合同例会 於；橋屋

☆ 司会進行 有田 2000RC 小川友香子君  
<ゲスト>

広川町耐久大学学長  
清水 勲 様



#### 会長告知

会長 龍田安廣 君

皆さんこんばんは。本日は有田2000RC 様と、合同例会という事で、私共御坊東ロータリークラブより、総勢8名の参加をさせて頂いております。

芝会長、樋口幹事始め、会員の皆さん色々と私共にお気遣い頂きありがとうございます。この日で、9回目の合同例会でございますが、この先も続けていきたいと思っている昨今であります。



今日は記念講演として、広川町耐久大学学長の清水勲先生にテーマ「防災の原点～濱口悟陵翁に学ぶ～」のお話を聴けるという事で、大変興味を持って聴きたいと思っています。

私共の日高郡では、去年の台風12号により日高川が大氾濫し、大変な水災害を受けました。同じ水系である有田川は、水害を真逃れる事が出来た。昭和28年7月18日の大水害は、同じように有田川・日高川でも災害を受けました。日高川の大水害の検証が必要であり今行われておる所であります。又、復旧・復興も日に日に進んでおります。二度と同じ繰り返さないようにしなければなりません。

最後になりましたが、皆様方のますますの御健勝とご多幸を記念致しまして、私の挨拶と致します。

本日はありがとうございます。



#### 本日のプログラム

#### 「地震津波防災の原点」

～濱口悟陵翁に学ぶ～

耐久大学学長 清水 勲 様

私は 80 歳の峠を越えましたが、16 年教師を、その後、教育事務所最終は耐久中学校に奉職しました。

思い出しますのは、最初の赴任先の中学校時代の昭和 28 年の 7・18 水害です。いつもしていた宿直ですが、その日に限ってしてなく命拾いをしたことです。その時、通っていた学校は土地ごと流されたのです。今でも水害の怖さを身にしみて思っています。

#### はじめに

\* 四季の変化に富む日本 自然災害の多い日本

\* 生涯学習社会の構築

1965 年(昭和 40 年)ポール・ラングランが、ユネスコ総会で生涯教育の推進を力説。時代の変遷に対応した成人教育の推進(教育の形骸化を指摘)

「生きることは学ぶこと」→市民憲章、町民憲章、村民憲章の制定運動「生き甲斐」の構築

\* 掛川市「生涯学習都市宣言」(昭和 54 年 4 月 1 日 1979 年) 貴志川町「生涯学習宣言活動」(平成元年 3 月 17 日) 学校中心の教育から住民一人ひとりへ→いつでも、どこでも、誰

でも出来る学習。

生き甲斐のある人生構築→「人生1学習、1スポーツ、1奉仕」2国づくりは人づくり、人づくりは教育。

「教育の町、広川の構築」→広川町民憲章制定

### 3. 濱口梧陵の人格形成

家庭教育→家憲と祖父灌圃の教え。

少年時代→橋本柑園から儒教を学ぶ。

ふる里を離れて銚子へ(11歳)

青年時代→広く師友を求めて、三宅良斎(西洋医学)佐久間象山(海外事情)佐藤一斎、勝海舟、福澤諭吉ほか。

◇時代の変遷。

\*揺らぐ幕藩体制(江戸時代の終焉)アヘン戦争(1840年)の教訓内憂外患

\*欧米の発展と海外渡航への夢と現実→(鎖国の壁)和魂和才から和魂洋才へ

\*新時代への対応→崇義団の結成(1857年)、若者の教育(1852年)耐久舎の創設→黒船来航(鎖国から開国へ)(1853年)



### 4. 35才の決断

\*広村に津波来襲 安政の南海地震(1854年12月24日夕刻)M8.4

「人間愛・郷土愛の発揮」臨機応変の措置→稲むらの火(避難の道標)←危機管理の発揮、災害対策を考える。炊き出し(米200俵)住宅50軒建設、死者36人(広村)流失家屋125/339軒

このままでは村は衰亡する→百世の安堵を図る。

中・長期対策 仁政(孔・孟思想の発揮)→陽明学(知行合一)堤防の築造(私財をを投じて)

村人は梧陵の恩徳に応えるため「濱口大明神」の建設計画→(中止)村人は「生き神様」として尊敬。

### 5. 明治維新(廃藩置県)後の梧陵翁の活躍

勘定奉行、学習館知事、初代県会議長歴任、外国視察(明治17年)(65歳)客死(明治18年)66歳

### 6. 三陸沖地震津波からの教訓

\*1611年12月2日。M8.1。伊達藩死者1783人

\*明治の三陸沖地震津波(明治29年6月15日)に学ぶ。

M8.5ぬるぬる津波地震(午後7時32分)→津波来襲8分7秒旧暦の5月5日(端午の節句)死者27000人、一家全滅728軒。綾里村38mの津波、田老町285戸流失、生き残り37人。大槌町、海岸で花火大会。吉浜村982死亡/1075人(91%死亡)

\*1933年(S8.3.3午前2時)震度5、死者3064人

\*チリ津波・地震M9.5(昭和35年5月23日)22時間後に津波来襲。三陸海岸105人死亡

\*被害日本大震災死者行方不明者19000人余り

### 7. 地域・文化の継承と創造(濱口梧陵の遺徳と偉業を後世にどうつたえるか)

1)教材「生ける神」(小泉八雲)

2)教材「稲むらの火」(中井常蔵)

3)濱口梧陵伝(杉村廣太郎大正9年11月)

4)史蹟「広村堤防」、史蹟「濱口梧陵墓」

5)石碑→広村堤防、広八幡神宮、千葉県銚子市。

6)銅像→県庁、広川町役場前。耐久中学校、耐久高校。

7)行事→「津波祭り」「稲むらの火祭り」

8)「稲むらの火の館」「耐久舎記念館」



### 出席報告

出席委員会 雑賀鈴夫 君



会員数	欠席者	出席者	免除会員	出席率
14名	5名	9名	0	64.3%
10月10日 の修正出席率				なし

## 今日のうた 「4つのテスト」

### 次回例会のご案内

★11/7 例会は  
日高博愛園管理栄養士  
松原弘明 様の外来卓話です。